



調理家電の落とし穴 ～汚れた電子レンジ・オーブントースターは NO!!～

1. 事故の発生状況

2016年から2020年の間にNITEに通知のあった製品事故情報^{※1}のうち、九州・沖縄8県で調理家電による事故は合計39件^{※2}ありました。

(1) 県別および年度別事故発生件数（表1）

表1 調理家電による事故の県別および年度別事故発生件数（2016～2020年）

発生年度	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
2016年	4	1	2	2	0	0	0	1	10
2017年	5	0	1	1	1	0	2	0	10
2018年	1	0	3	1	0	0	0	1	6
2019年	3	1	1	0	0	1	0	0	6
2020年	1	0	2	1	0	1	1	1	7
合計	事故件数	14	2	9	5	1	2	3	39
	火災件数	[13]	[2]	[7]	[5]	[0]	[0]	[3]	[33]

※1:消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含みます。

※2:重複、対象外情報を除いた事故発生件数です。

(2) 県別および被害状況別事故発生件数（表2）

表2 調理家電による事故の県別および被害状況別事故発生件数（2016～2020年）^{※3}

被害状況	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
人的被害	死亡	1	0	0	0	0	0	0	1
	重傷	1	0	1	0	0	0	0	2
	軽傷	0	0	1	0	1	0	0	2
物的被害	拡大被害	10	0	6	3	0	0	2	21
	製品破損	2	1	0	2	0	2	1	11
被害なし	0	1	1	0	0	0	0	0	2
合計	14	2	9	5	1	2	3	3	39

※3:表2において人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしません。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としています。

2. 調理家電の事故事例

(1) 2018 年 4 月（沖縄県、40 歳代・男性、製品破損）

【事故の内容】

オーブントースターを使用中、庫内から出火した。

【事故の原因】

使用者が、調理物を加熱し過ぎたため、調理物が発火・焼損したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「必要以上に加熱しない。調理物が発火することがある。使用中本体から離れない。」旨、記載されている。

(2) 2019 年 1 月（福岡県、30 歳代・女性、拡大被害）

【事故の内容】

オーブントースターを使用中、製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

使用者が、ぎょうざの皮を長時間加熱したため、過加熱となり出火に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「調理物の様子を見ながら調理する。」、「必要以上に加熱しない。加熱しすぎると調理物がこげたり、発火したりする恐れがある。」旨、記載されている。

3. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」＋「NITEのロゴ」としてください。

（本件に関するお問い合わせ先）

〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原 2-1-28

独立行政法人製品評価技術基盤機構

九州支所 担当者 矢代

電話：092-551-1315 FAX：092-551-1329